



Top Message



私たち愛知機械工業は、日産自動車グループ企業として、自動車用エンジン、トランスミッション、電動車用増減速機ユニットを製造し、世界中の大変多くのお客様にご愛顧頂いております。

弊社は、戦後動乱期に従業員ひとりひとりの起業家精神から興業したことを源にしております。その後75年以上に渡り一貫して‘モノづくり’の力を磨き続ける事で、社会環境変化に柔軟に応え、社会課題の解決に貢献する事で、ひとの豊かさを追求して参りました。

創業来、私たちの事業基盤は人であり、弊社の経営計画の中核に人づくりを据えて持続的な事業の発展を目指しております。

私たちを取り巻く環境の変化は増々急速化、激化していますが、現在の‘モノづくり’の力を最大限に活かした製品づくりと、さらに従業員ひとりひとりが学び、成長し続ける事で、未来にわたって持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けるよう努めて参ります。

代表取締役社長 和田民世

Our Mission

くるまに関連した 「モノづくり」を通じて

愛知機械工業は日産自動車グループの一員としてくるまに関連した「モノづくり」を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。



Our Vision

「ひとの豊かさ」を追求します

愛知機械工業は、主力製品であるEV用減速機やハイブリッド車用発電エンジンなどの電動化関連ユニットを供給することで、急速に進展しているくるまの電動化に大きく貢献しています。これからも、長年培った技術や知見を活かし、製品を通じてお客様に信頼と満足をお届けするとともに、カーボンニュートラルなどの社会課題の解決に貢献し、「ひとの豊かさ」を追求します。



Medium-Term Business Plan

持続的な発展を目指して

愛知機械工業は、2024年4月からスタートする5カ年の新しい経営計画として、「頂きへ、そして次のステージへ～ to the Top, to the Next ～」を策定し、「事業の発展」「信頼・競争力の確保」「会社基盤の強化」を主要な活動に位置づけ、持続的な愛知機械の発展を目指します。



事業の発展

- 既存事業の深化
- 新規ビジネスへの挑戦

信頼・競争力の確保

- コスト競争力の向上

会社基盤の強化

- コンプライアンスの遵守
- 現場力の向上(安全・品質)
- 人財の育成

Realization of a Sustainable Society

愛知機械工業は、良き企業市民として持続可能な社会を目指し、 環境との調和を大切にし、社会から信頼される企業を目指します。

【環境理念】

われわれ一人ひとりが環境に対する理解を深め、人や社会、自然や地球を思いやる「やさしさ」を、
クルマに関連したモノづくりに活かし、より豊かな社会の発展に貢献します。

【環境方針】

『かけがえない自然を、私たちの手で守り続けよう』の
スローガンのもと、環境保全と環境負荷の軽減を積極的に推進します。

環境への
取り組み
詳しくは
コチラ！



電化事例



空調機用の電気式チラー



排水処理工程の
電気式ヒートポンプ化

環境保全は、法令よりも厳しく設定した自主排出基準の採用や、
環境事故防止教育、工事のリスクアセスメント強化などを通じて、
環境事故防止を徹底しています。



水質に問題がないことを確認するため、放流口の出口に池を設置し、金魚を放流

評価・表彰

経済産業省

省エネ優良事業者6年連続Sクラス取得

名古屋市

エコ事業所の認定
熱田、永徳、大江事業所



中部地方
電気使用合理化委員会
エネルギー管理者
表彰



ヒートポンプ蓄熱センター

EHP化推進に対する
特別感謝状



Our Products

電動化関連ユニット

シリーズハイブリッド車用ユニット

外部から充電する代わりに自ら発電してモーターだけで走る電気自動車(e-POWER用)の発電専用エンジンです。



BEV車用ユニット

日産のインテリジェントモビリティを支える減速機です。モーターの回転数を調整して、タイヤ(ドライブシャフト)に伝達するもので、従来のトランスミッションに相当します。



電気自動車向け
パワートレインに
ついて

詳しくは
コチラ！



その他当社製ユニット

エンジン

HR14DD



PR25DD



デュアルクラッチトランスミッション

Z30A



マニュアルトランスミッション

R31A



Monozukuri Capability

私たちは、自動車部分品生産に関わる豊富なノウハウを基に

無人化・省人化・フレキシビリティ化を追求した設備を開発・製造しています。

更に、基本方針に基づいた活動を通して、更なる品質レベルの向上、

顧客満足度の向上に取り組んでいます。

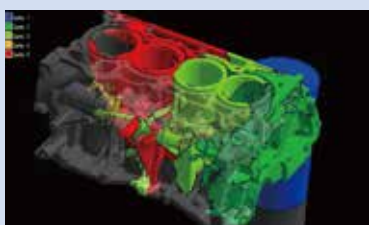
品質保証に対する基本方針 「お客様に信頼される高品質な製品づくりの追求」

主な品質活動

- 国際品質規格のIATF16949をはじめ、各種の認証を取得すると共に
“モノづくりの工程は品質保証の過程”と位置づけ、各段階で厳しいチェックを実施しています。
- 近年は デジタル化に伴い、“見える品質”を進めると共にトレサビリティを徹底し、
品質状況の確認と追従を可能としています。

高品質な製品をお客様にお届けする

エンジン



鋳造

- 鋳造技術は、湯流れ解析や金型温度解析など、
様々な解析ソフトを活用し、開発段階から
性能、品質向上に貢献しています。

ドライブトレイン



加工

- 生産性とフレキシブル性を
両立させた高能率ラインです。



組立

- 特にギヤ加工精度は、電気自動車にも
搭載できる高い静粛性を実現しています。



テスト

- ユニットの出荷最終テストを
実施し、品質を保証しています。



品質内容

<画像検査等 見える品質の強化>

① X線 CTを用いた鋳巣の検査

シリンダーブロック

CTによる3Dデータ



実物と解析結果を比較し、解析の妥当性及精度向上

CTによる内部欠陥

解析による欠陥予測



比較



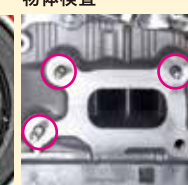
② 人の目による検査→AI活用による画像検査へ

AIを学習させ、従来では難しかった不規則な欠陥検出を可能にします。

外観検査

種類分類

物体検査



画像処理で
可視化



学び、チャレンジし続ける

私たちの行動指針のひとつ。改善・創意工夫が愛知機械工業のDNAの一つであり、持続的な発展の礎となります。



独自の取り組み >>> 学ぶ機会の創出

各職場の業務を進めるために必要となるスキルを身に着けるべく、部ごとに教育方針を立てて学習の機会を創出しています。例えば社内勉強会を実施したり、外部講習を受講するなど、自発的にスキルアップを目指します。また、各部の教育実績や良い取り組みは社内でも共有し、学びの相乗効果を生み出しています。

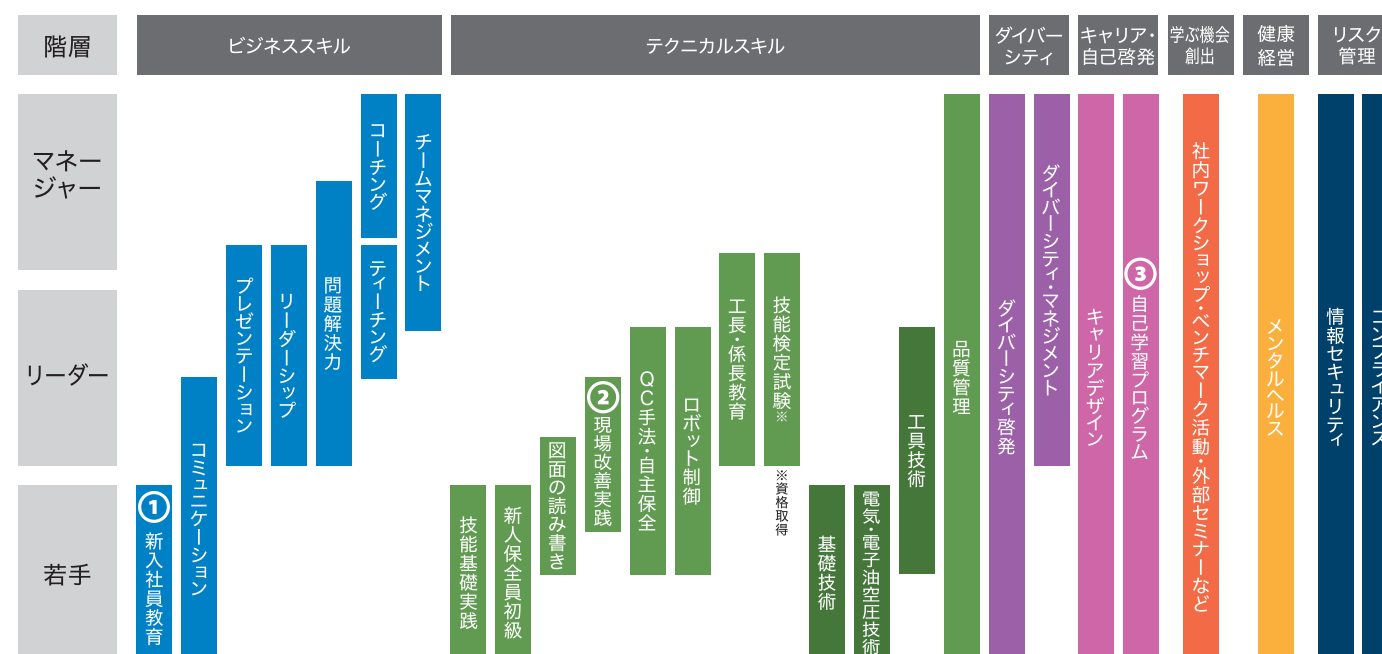


人財育成の基本方針

新しい時代に求められる能力向上を目指し、新入社員から管理職まで幅広い教育プログラムを策定。全社共通の教育に加え、各職場から積極的に学ぶ機会を創出するような仕組みづくりも積極的に行い、人財育成に力を注いでいます。

教育体系

基礎知識の習得から専門性の向上、マネジメントに必要なスキルアップまで、様々なテーマの研修を受講できます。



PICKUP①

■新入社員教育

社会人の心構えや基礎知識をはじめ、モノづくりに必要な専門知識のベースとなる部分を、演習や実習を通じて習得します。



PICKUP②

■現場改善実践講座

後輩や部下を指導する立場になると、現場管理の一環として、現場実態に即した改善手法の基礎知識を習得します。



PICKUP③

■自己学習プログラム

従業員自身がスキルアップのために、学びたいテーマを学びたいときに学習できるプログラムを用意しています。



Features of Our Company

【主な福利厚生】

各工場に食堂を用意しています。



食堂(本社)

名古屋・松阪地区に独身寮を完備しています。



独身寮(名古屋)



独身寮(松阪)

【多彩な働き方】



フレックス勤務

始業・終業時刻を各自で決定し、ワークライフバランスをとりながら効率的に働くことができます。



ファミリーサポート休暇

ライフステージに合わせて有給休暇以外に12日間の休暇を取得できます。



子育て支援制度

育児休暇や育児勤務制度等、子育て世代を支援するための制度があります。

【社内イベント】

労働組合と共催し、従業員、家族、地域の人々が参加できるまつりを毎年企画・実施しています。



夏まつり(三重)



秋まつり(名古屋)

【社内の取り組み】



経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人認定制度」において、2020年から7年連続、「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されています。



当社の安全リスクアセスメントへの積極的な取り組みが評価され、2024年愛知労働局から「安全経営あいち賛同事業所」として登録されました。

List of offices and plant

当社事業所一覧



本社

■所在地 〒456-8601 名古屋市熱田区川並町2番12号



事業所一覧

詳しくは
コチラ！



熱田工場

■所在地 〒456-0055 名古屋市熱田区南一番町1番10号

■生産品目 エンジン



永徳工場

■所在地 〒455-0845 名古屋市港区野跡五丁目4番16号

■生産品目 ドライブトレイン



大江工場

■所在地 〒455-0024 名古屋市港区大江町6番地の7

■生産品目 工作機械



松阪工場

■所在地 〒515-0001 三重県松阪市大口町字北浜503番地の1

■生産品目 鋳造部品



津地区

■所在地 〒514-0084 三重県津市片田町字巻町田594番地4

■生産品目 自動車部分品の機械加工

主要グループ会社

愛知機械テクノシステム株式会社

事業内容

- 無人搬送車を中心とした、構内物流システムの設計・製造・設置工事・サービス事業
- 無人搬送車及び関連機器の設計・製造・特殊改造・サービス事業

所在地:〒456-0055 名古屋市熱田区南一番町1番10号



株式会社アイテクニカ

事業内容

- エンジニアリング業務(生産技術、品質保証、図面データ管理および電子化)
- バックオフィスサポート業務(総務、人事、調達ほか)

所在地:〒456-8601 名古屋市熱田区川並町2番12号



エーケー・トランスポート・サービス株式会社

事業内容

- 工場内物流・梱包出荷、一般貨物自動車運送、梱包資材販売、納入代行
- 工場の動力供給設備、公害防止設備及び建物附帯設備管理、労働者派遣

所在地:
〒456-0055 名古屋市熱田区南一番町1番10号
ほか愛知県2拠点、三重県2拠点



伸和精工株式会社

事業内容

- 自動車用ドライブトレイン 及び エンジン部品の製造(主に切削加工)
- マニュアルトランスミッションのシンクロ系部品及びEV増速機用ギヤ部品の切削加工
- エンジン部品 シリンダーライナーの切削加工

所在地:
〒511-0417 三重県いなべ市北勢町瀬木63番地5



Company Profile

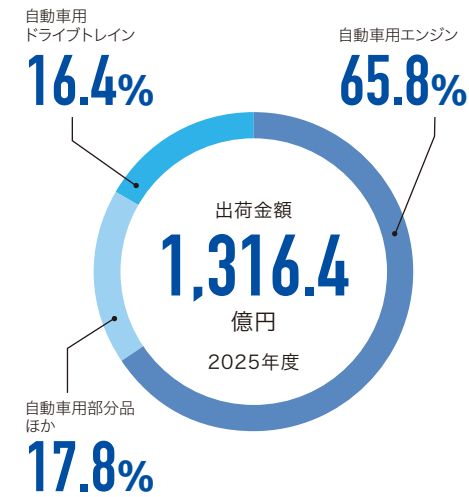
会 社 名	愛知機械工業株式会社
設 立	1949年5月23日
本 社	〒456-8601 名古屋市熱田区川並町2番12号
電 話 番 号	(052) 681-1111 (代表)
代 表 者	取締役社長 和田 民世
主 な 事 業 内 容	(1) 次の品目及びその部分品並びに関連資材の開発、製造、販売、修理 ①各種発動機、変速機及び自動車 ②鋳造製品 ③工作機械、その他機械器具及び工具 ④搬送用機械及び運搬機器 (2) 前号の事業に関連する技術指導及びコンサルティング並びに前号各項目に関する発明考案、デザイン、ノウハウ、 技術情報等の開発、売買及び供与 (3) 自動車、各種発動機、変速機及びその部分品の機械加工並びに板金
主 要 製 品	自動車用エンジン、電気自動車用増・減速機、自動車用マニュアルトランスミッション、工作機械 自動車部分品／シリンダーブロック、シリンダーヘッド、クランクシャフト、カムシャフト、コネクティングロッド、 トランスミッションケース、クラッチハウジング、ギヤ部品
資 本 金	85億18百万円(2026年3月)
従 業 員 数	1,338名(2026年3月)

会社概要

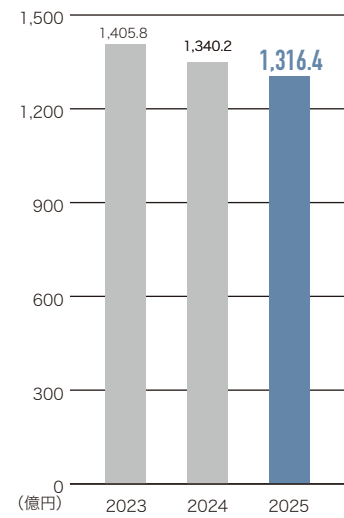
詳しくは
コチラ！



【出荷高の構成】



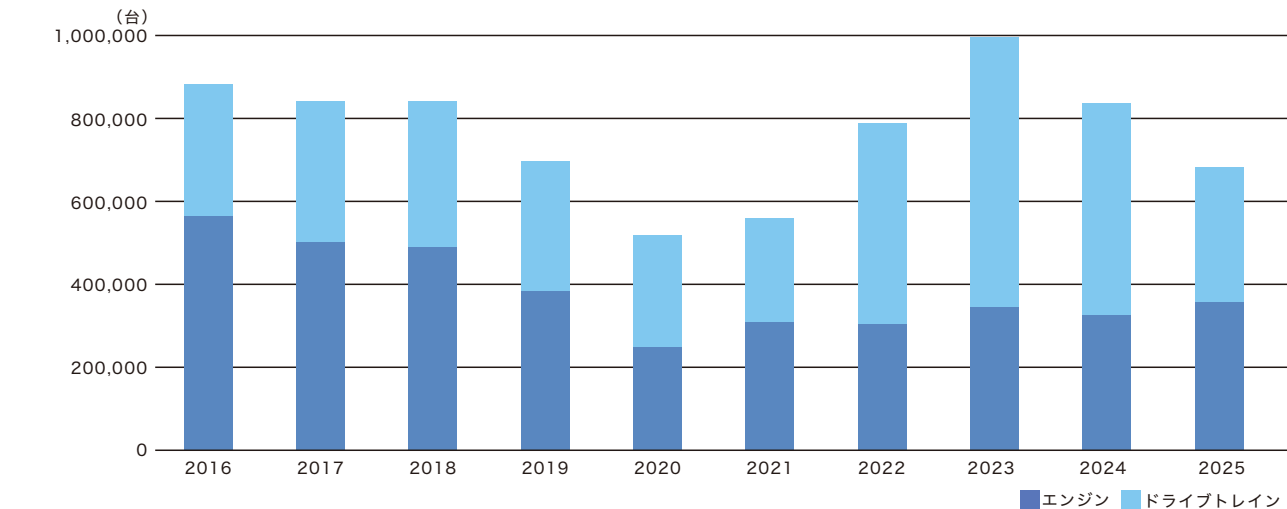
【出荷高の推移】



【主な納入先】

- 日産自動車株式会社
- ルノー
- 三菱自動車工業株式会社
- ルノーコリア自動車
- ジャトコ株式会社
- GKNドライブラインジャパン株式会社

【各ユニット生産台数推移】



Our History

沿革

詳しくは
コチラ！



1947年 三輪自動車 「チャイアント号」 および各種発動機 生産開始		1898年 「愛知時計製造株式会社 (現 愛知時計電機株式会社)」 設立
1959年 軽四輪自動車 「コニー360」生産開始		1943年 同社から航空機部門分離、 「愛知航空機株式会社」設立
1966年 「サニー」用A型 エンジンおよび マニュアルトランス ミッション生産開始		1949年 企業再建整備法により 「新愛知起業株式会社」設立
1970年 「サニートラック」 生産開始		1952年 現社名「愛知機械工業株式会社」に改称
1978年 「バネット」系 車両生産開始		1962年 「日産自動車株式会社」 と技術提携
1981年 「サニー・パルサー」用 E型エンジン生産開始		1965年 「日産自動車株式会社」 と業務提携
1982年 「バネットラルゴ」 生産開始		1977年 「松阪工場」操業開始
1989年 限定生産乗用車 「パオ」生産開始		1983年 「港工場」操業開始
1991年 「バネットセレナ」 生産開始		1985年 「大江工場」操業開始
1992年 「ラルゴ」 生産開始		1991年 「津工場」 操業開始
1995年 「ラルゴ ハイウェイスター」 生産開始		1994年 「TPM優秀賞」 受賞(港工場)
1996年 「セレナ ハイウェイスター」 生産開始		1995年 「TPM特別賞」 受賞 (熱田工場・松阪工場)
1998年 QG型 (13・15・18型) エンジン生産開始		1997年 「新本社」社屋竣工 受賞(工機部)
2001年 「セレナ」生産を 「日産自動車株式会社」へ移管		1998年 「TPM優秀賞」 受賞(工機部)
2002年 「フェアレディZ」用 マニュアルトランスミッション 生産開始		2001年 「ISO14001」認証取得 (熱田工場・松阪工場)
2004年 「ディーダ」用 HRエンジン生産開始		2002年 「ISO14001」認証取得 (津工場)
2007年 「NISSAN GT-R」用 GR6デュアルクラッチ トランスミッション生産開始		2003年 「ISO14001」認証取得 (大江工場・本社地区)
2010年 電気自動車「リーフ」 用減速機生産開始		2004年 「ISO14001」認証取得(永徳工場) これにより全事業所認証取得
2012年 「ノート」用 HR12DDRエンジン 生産開始		2006年 「ISO/TS16949」 認証取得 (熱田工場、永徳工場、松阪工場、津工場)
2013年 QRエンジン 生産開始		2009年 熱田工場西工場竣工
2016年 「ノート」e-POWER 発電用HR12DEエンジン、 増・減速機生産開始		2010年
2020年 PRエンジン生産開始		2020年
2021年 「MAZDA MX-30EV」に 当社減速機が搭載 電気自動車「アリア」用 減速機生産開始		2021年
2022年 新型エクストレイルのFr用増減速機と e-4ORCE用Rr減速機の供給開始 「セレナ用」HR14DD エンジン生産開始		2022年
2025年 「キャシュカイ」用 ZR15DDTエンジン 生産開始		2023年 「セレナ」用HR14DDエンジンが 「RJCテクノロジー」 オブザイヤーを受賞
2026年 新型エルグランドに ZR15DDTエンジンが搭載		2026年 健康経営優良法人 2026認定(7年連続)